

【構成団体】

神奈川労働局・労働基準監督署／神奈川県／横浜市
神奈川県産業保健総合支援センター
(公社)神奈川県医師会
(一社)神奈川県歯科医師会
(公財)かながわ健康財団
(公社)神奈川労働安全衛生協会
建設業労働災害防止協会神奈川支部
陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会神奈川支部
林業・木材製造業労働災害防止協会神奈川支部
中央労働災害防止協会関東安全衛生サービスセンター

産業保健フォーラム in YOKOHAMA 2019

新しい時代の「産業保健」のあり方 ～“働き方改革”におけるこれからの産業保健の取組み～

開催のご案内

主催：神奈川健康づくり推進会議

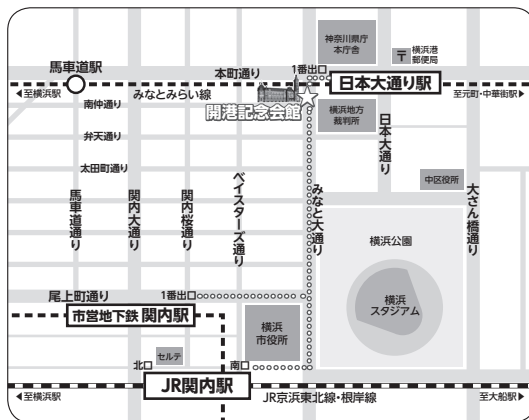
『働き方改革実行計画』は、我が国の少子高齢化、生産人口の減少という問題に対し、長時間労働の見直しや労働生産性の向上による成果を働く人に分配して成長と分配の高循環を構築し、子育てや介護、病気の治療と仕事の両立など多様な働き方を求めています。

昨年6月に働き方改革関連法案が成立し、働く人の視点から企業の文化や風土の変革を進める『健康経営』の取組みが注目されており、企業における産業保健活動がますます重要になっています。

令和元年度となり『産業保健フォーラム in YOKOHAMA 2019』では、新しい時代の「産業保健」のあり方をテーマに、働き方改革における産業保健の取組みとして、健康管理・メンタルヘルス・治療と仕事の両立支援・産業保健活動において先進的に取組まれている企業によるシンポジウムを中心に、産業医科大学教授の森晃爾先生方からご講演をいただきます。

事業主、事業場の労務管理・安全衛生管理担当者をはじめ、産業医や産業看護職などの産業保健関係者など、多く皆様に産業保健フォーラムにご参加いただきますようお願い申し上げます。

【会場 横浜市開港記念会館】



1. 日時 令和元年 10月 18日(金) 13:00～17:00
2. 会場 横浜市開港記念会館 1階講堂 (横浜市中区本町1-6)
3. 参加費 無料
4. 対象 事業主、衛生管理者、産業看護職、産業医、労務管理・安全衛生担当者ほか (定員：400名)
5. 講演の内容

(1)特別講演 『新しい時代の「産業保健」のあり方』(仮)

産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学研究室 教授 森 晃 爾 先生

(2)基調講演 『働き方改革に期待される産業看護職の役割』(仮)

東海大学医学部 看護学専攻主任 教授 錦 戸 典 子 先生

(3)シンポジウム ファシリテーター：錦戸典子先生

事例発表1 「ローム株式会社の健康経営に向けた取組み」

ローム株式会社横浜テクノロジーセンター 管理課長 島 津 讓 氏

事例発表2 「メンタルヘルス対策 ～ストレスチェックによる職場環境改善～」

オムロンエキスパートリンク株式会社 保健師 星 野 寛 子 氏

事例発表3 「中小企業における両立支援」

株式会社松下産業 代表取締役社長 松 下 和 正 氏

事例発表4 「富士通における“チームで取り組む産業保健活動”」

富士通株式会社 健康推進本部 健康支援室 室長 岡 田 睦 美 氏

申込先

参加お申込みは、神奈川県産業保健総合支援センターのホームページ『研修・セミナー・交流会のご案内』にて

8月20日から申込受付いたします

〔※ 定員に達し次第、申込みを締め切らせていただきます。〕

(独)労働者健康安全機構 神奈川県産業保健総合支援センター
〒221-0835 横浜市中区鶴屋町3-29-1 第6安田ビル3階

TEL 045 (410) 1160

FAX 045 (410) 1161

HP <http://www.kanagawas.johas.go.jp>